

▶ 終章

分断を超えたアジア経済安保戦略の構築

——「安保と経済の好循環」への課題

日本経済研究センター 首席研究員

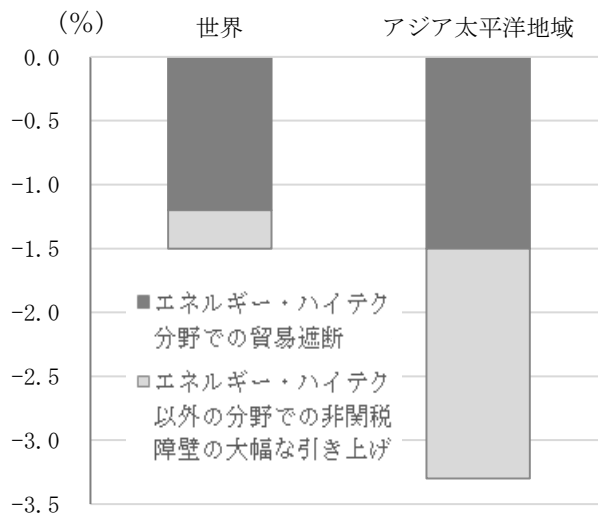
伊集院 敦

【ポイント】

- ▶ 経済安保の取り組みはアジアの経済大国である日本も急ピッチで進めている。法整備の第1歩となる経済安全保障推進法が成立し、9年ぶりに改訂した国家安全保障戦略の柱にも据えた。グローバルな安保環境の変化が背景にあり、同盟国・米国の要求を踏まえた状況対応型の色彩も濃い。
- ▶ にわか仕立ての経済安保には定義のあいまいさに伴うリスクがあり、政府の権力乱用や肥大化を招く懸念もある。世界の分断が加速するリスクもあり、貿易が盛んなアジア太平洋は他地域より大きな影響を受ける可能性がある。経済武器化のマイナス効果にも注意すべきだ。
- ▶ リスクを最小化し、安保と経済の好循環を実現する地域経済安保戦略の構築が求められる。軍事と同様に経済面でも関係国とのリスク・コミュニケーションが重要で、過剰な経済安保措置の応酬を防ぐ競争管理も必要になる。日本にはルールや国際秩序形成のコーディネーターとしての役割が期待され、強い決意と総合的な調整力が試される。



2つの分断シナリオに基づくGDPへの影響



資料：IMF 「Regional Economic Outlook for Asia and Pacific」(2022年10月)